

2023 年度 グローバル地域文化学部 海外語学プログラム(英語) I・II・III 募集要項

研修校・研修地	単位数	研修期間(予定)	担当者	募集人数	費用※
ウェスタン・ ミシガン大学 (アメリカ)	9 単位	2023 年 8 月 24 日 - 12 月 10 日	Susanna PAVLOSKA	20 - 25 名 (最少催行人員: 10 名)	約 235 万円 (20 名未満の場合)
					約 225 万円 (20 名以上の場合)

※費用は 2022 年 11 月現在の為替レート等に基づいて算出しています。今後の世界情勢や為替レートの変動、またスケジュールや参加人数の変更、感染対策により、参加費用は変動します。

説明会に出席できなかった場合など、プログラムの内容に関する質問や個別相談はこちらへ
Susanna PAVLOSKA (spavlosk@mail.doshisha.ac.jp)
その他の問い合わせ
グローバル地域文化学部事務室 (月～金:9:00～11:30・12:30～17:00) TEL:075-251-2610 / ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp

■科目の取扱い

単位の取扱い	9 単位のうち 1 単位は選択必修科目 B 群(スタディ・アブロード科目群)の単位に充当する。残り 8 単位は選択必修科目 C 群(外国語関連科目群)の英語の単位に充当する。ただし、すでに選択必修科目 B 群にて 1 単位履修済の場合は、9 単位を英語言語の単位に充当する。
開講年度・学期	2023 年度 秋学期
科目登録における 注意点	<ul style="list-style-type: none"> ■大学が一括登録を行う。各自での登録手続は不要。 ■プログラム参加者の秋学期の登録科目は「海外語学プログラム I」、「海外語学プログラム II」、「海外語学プログラム III」のみとなり、秋学期に他の科目を登録することは認められない。 ■「海外語学プログラム(英語) I・II・III」の開講年度・学期は「2023 年度・秋学期」だが、事前授業は 2023 年度春学期に実施される。科目登録の際、「海外語学プログラム(英語) I・II・III」の事前授業と他の春学期科目が、時間割重複または二校地間移動不可とならないよう十分確認すること。事前授業と他の春学期科目が時間割重複(二校地間移動不可を含む)を起こした場合、時間割重複した科目もしくは「海外語学プログラム(英語) I・II・III」のいずれかの科目は履修できない。
備考	プログラム参加者は、現地での研修に加え、出発前に行われる事前授業と危機管理オリエンテーション、帰国後に行われる事後授業に必ず参加しなければならない。

=====**出願前に必ず読んでください**=====

■コロナ禍における海外渡航を伴うプログラムについて

渡航先であるアメリカ合衆国は、外務省海外安全ホームページにおいて感染症危険情報レベル 1(十分注意してください)が発出されています。(2022年12月9日現在)(外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

本学では、危険情報(感染症危険情報を含む)レベル 1が発出されている状態で、学生の海外渡航を伴うプログラムを実施する場合、当該学生の渡航に関し、**学生本人及びその父母に対し、渡航の意向について文書により確認することが必要**である旨定められています。

以下の事項を承諾・厳守することを誓約していただくことが渡航の条件になります。

1. 学生本人および連帯保証人(保証人を含む)が渡航を強く希望していること
2. 学生本人および連帯保証人(保証人を含む)が募集要項に記載のすべての内容を正しく理解していること
3. 学生本人が、当該科目の出発までに、渡航先の国・地域への入国および日本への帰国の際に支障が生じない回数の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を完了してしていること。また、ワクチン接種に起因するリスクを学生本人および連帯保証人(保証人を含む)が理解し、自らの判断と責任に基づき接種すること
4. 学生本人および連帯保証人(保証人を含む)は、渡航先の国・地域が新型コロナウイルス感染症の影響により、外務省の感染症危険情報レベル 1 以上であることを確認するとともに、これに伴うリスクを理解し、渡航によって生じるすべての責任を負うこと
5. 新型コロナウイルス感染症を含め、渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる保険に加入していること
6. ワクチン接種証明書が必要な場合、学生本人の責任において手配し、発行が間に合わない場合に生じる不利益についても学生本人が対応すること
7. 渡航先の国・地域への入国に際して、諸外国政府が検査や隔離等の出入国管理措置を定めた場合には、それを遵守すること。また、帰国時に、日本国政府が出入国管理措置等を定めた場合は、それを遵守すること
8. 渡航後に帰国勧告が発出される場合があることを理解し、渡航先の関連機関等や本学からの指示に従うこと
9. 同志社大学が定めた渡航条件を前提に渡航準備を進めた場合であっても、状況変化による入国制限やビザ発給の遅延により渡航できない可能性があることや、いずれかの条件が整わない場合および現地の感染状況の急激な悪化等により、大学が渡航中止を指示する場合があることを理解すること
10. 上記に記載する事態に伴い発生する費用については、自らが負担すること
11. 当該科目のプログラムの期間中は、渡航先の国・地域内に滞在すること

※今後、渡航先の国の入国条件、研修先機関の条件、ワクチンパスポートの有効期限との関係で、新型コロナウイルスワクチンの追加接種が出発前や渡航後に現地にて必要となる場合があります。

※隔離に伴い発生する費用についてはプログラム費用に含まれません。

- **当該プログラムの出発日と、新型コロナウイルス感染者の療養期間、または、濃厚接触者の待機期間が重なり、予定されている出発日に出発できなかった場合**、10日間程度(詳細は8月初旬にお知らせ予定)の遅れまでであれば、遅れて渡航することを認めます。ただし、次の事項を了承してください。(ご父母の方にも了承を得てください。)

- 予定されている出発日の旅行契約(往復団体航空券)は、往路、復路とも、一旦取り消し(キャンセル)します。
- これにより、取消料が発生します。(取消料は旅行契約の解除の時期により異なります。)
- 療養期間後、または、待機期間後の出発可能日において渡航するためには、新たに、往復個人航空券を購入する必要があります。(手配は株式会社 JTB 京都支店が行います。)
- このため、往路、復路とも、他のプログラム参加者とは別行動になります。
- 新規で購入する往復個人航空券の価格は、複数の要因が複雑に絡み合っており変動するため、現時点では予測不可能ですが、予定通りに渡航した場合の航空運賃よりも割高になることが予想されます。

- アメリカ合衆国に入国する場合は、ワクチン接種証明書に加え、宣誓書を提示する義務が生じます。このことから、本プログラムに参加し、アメリカ合衆国に渡航する場合はプログラム出発までに2回目の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種から2週間経過していること、さらに、2回目のワクチン接種後6ヶ月が経過している場合は、3回目のブースター接種を完了させておくことが求められます(2022年12月6日現在)。なお、ワクチン接種に起因するリスクを学生および保証人が理解し、自らの判断と責任において接種することに同意することが必要になりますので予めご了承ください。

COVID-19 | Western Michigan University <https://wmich.edu/covid-19>

- 日本入国時の検疫措置は、全ての帰国者・入国者について、原則として、入国時検査を実施せず、入国後の自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中のフォローアップ、公共交通機関不使用等は求めないこととしています。ただし、**全ての帰国者・入国者について、世界保健機関(WHO)の緊急使用リストに掲載されているワクチンの接種証明書(3回)又は出国前 72 時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの提出が必要**です。

有効なワクチン接種証明書を保持していない全ての入国者(日本人を含む)は、出国前 72 時間以内に検査を受け、医療機関等により発行された陰性の検査証明書を入国時に、検疫所へ提示しなければなりません。

有効なワクチン接種証明書又は検査証明書のいずれも提示できない方は、検疫法に基づき、原則として日本への上陸が認められません。また、**出発国において搭乗前にワクチン接種証明書又は検査証明書のいずれも所持していない場合には、航空機への搭乗を拒否されます。**

厚生労働省 水際対策 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

厚生労働省 出国前検査証明書 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00248.html

厚生労働省 有効なワクチン接種証明書 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/border_vaccine.html

(2022 年 12 月 9 日現在)

現地では厚生労働省が定める「有効な検査」を実施する検査場が減少しており、受検が難しい状況になっています。このため、本学部では、プログラム参加者の円滑な帰国のため、**渡航前にワクチンの接種(3 回)証明書を取得することを強く推奨**します。

■その他 出願にあたっての注意事項

- 本プログラム期間中、本学と参加者は、大学付与のメールアドレスを使って連絡を取ります。大学付与のメールアドレスへ送信されたメールを確認しなかったことが原因で発生した不利益については当該学生自身にご対応いただきます。
- 本プログラム参加期間中は「在学」扱いであり、**プログラム参加費用とは別に本学への学費の納入が必要**です。参加について十分に考慮し、保護者の方とよく相談した上で出願してください。
- 留学開始時の学年によっては、プログラム期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考えたうえで出願してください。
- プログラム開始前・開始後ともに、**キャンセルは原則として認めません**。参加について十分に考慮し、保護者の方とよく相談した上で出願してください。プログラムに参加することが決定した後にキャンセルした場合、参加費全額の返金の保証はできません。
- 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人員を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です。
- プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される感染症危険情報および危険情報「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。また、現地の治安状況および世界情勢等によっては、プログラムが急ぎで中止になる場合もあります。プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりませんので、あらかじめご了承ください。
外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 参加にあたっては、研修先機関の規則および本学の定める誓約事項を厳守いただきます。
- 参加者の中からリーダー・サブリーダーを選出します。出発・帰国に際しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。

■出願受付

受付期間	2023年1月10日(火)～1月17日(火) ※事務室開室時間に限る
出願資格	本学部に在籍し、TOEFL-ITP435点以上、TOEFL-iBT41点以上 あるいは、IELTS Overall band score 4.0以上の者
提出書類	①本学所定の願書<<写真貼付>> ②志望理由書【日本語と英語で記載のこと】 ③TOEFL、またはIELTSのスコア(コピー) ※過去2年以内に受験したものに限る
提出先	グローバル地域文化学部事務室
特記事項	「海外語学プログラム(英語)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「海外インターンシップ」は併願可能だが、それぞれの願書には併願の有無と、どちらを第1希望としているかを必ず記載すること。

■選考試験(面接試験)

実施日時	2023年1月26日(木) 16時40分～
集合場所	志高館 112 教室(SK112)
特記事項	この選考試験と同日時に期末試験がある場合は、出願時に申し出ること。面接終了時刻は受験者数によって前後するため未定。 ※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、Zoom等 オンラインで実施する場合があります。

■結果発表

発表日時	2023年1月31日(金) 0時～
発表場所	DUET メッセージ

■参加費納入

当科目への参加が決定した方は、参加費を納入する必要があります。参加費の納入は複数回に分けて行います。具体的な納入金額と納入期限は、参加決定者へ別途連絡します。**保護者等と参加費の支弁方法について十分相談の上で出願してください。**参加費は、今後の世界情勢や為替レートの変動、またスケジュールや参加人数の変更、感染対策により変動する可能性があります。事情により金額不足が生じた場合は不足分を追加徴収します。逆に、実費が徴収した参加費を下回った場合は差額を返金します。なお、参加費には、状況の変動を見込み、予め数万円の予備費を含んでいます。

■奨学金

「海外語学プログラム(英語)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」に参加し、合格評価を得た方は下記の2つの奨学金を受給することが可能です(2つの奨学金を併用することも可能です。)。両奨学金ともに渡航1ヶ月前までに詳細を案内します。不明点はグローバル地域文化学部事務室へ問い合わせてください。

同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金	
申請方法(概要)	1. 科目担当教員による申込(参加者による申込は不要) 2. 参加者は帰国後、パスポートのコピー、口座振込用紙依頼書を提出
申請書類提出先	上記1. 国際課(但し、参加者による申込は不要) 上記2. グローバル地域文化学部事務室
支給額	20万円
支給時期	成績発表後(秋学期末)
グローバル地域文化学部 海外語学プログラム(英語)合格者に対する奨学金	
申請方法(概要)	1. 参加者本人による申込 2. 参加者は帰国後、申請書、パスポートのコピーを提出
申請書類提出先	グローバル地域文化学部事務室
支給額	15万円
支給時期	成績発表後(秋学期末)

■事前授業(2023年度春学期中に5回実施)

プログラム参加者は、事前授業に必ず出席しなければなりません。病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。事前授業では、英語と日本語が使用されます。事前授業の曜日講時は、2023年度のシラバスで確認してください。事前授業に出席しない場合は、プログラムへの参加を認めないことがあります。その際発生するキャンセル料はご自身でご負担いただきます。

■危機管理オリエンテーション(2023年7月上旬の土曜日実施予定)

プログラム参加者は、危機管理オリエンテーションに必ず出席しなければなりません。病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。当オリエンテーションに適切な理由なく欠席した場合は、プログラムへの参加を認めないことがあります。その際発生するキャンセル料はご自身でご負担いただきます。

■事後授業(2023年12月実施予定)

現地での研修を終えて帰国した後は、事後授業(成果報告会を兼ねる)への出席やレポート提出が義務付けられています。事後授業の曜日講時および詳しい内容は、事前授業の際にお知らせします。

■成績評価(2024年3月発表)

最終的な成績は、事前授業、留学先での研修に対する評価、帰国後の事後授業、レポート等を総合的に評価して決定されます。

■TOEFL-ITPテスト

英語能力の自己点検のために、プログラム出発前、帰国後に本学内で実施するTOEFL-ITPの受験を推奨しています。なお、受験費用は自己負担です。ご留意ください。

プログラム紹介

■研修地カラマズーについて

カラマズー（ミシガン州）は、シカゴとデトロイトのほぼ中間に位置する人口 73,000 人の小都市です。今プログラムの実施校であるウェスタン・ミシガン大学に加え、カラマズー大学があります。両校の学生と教職員でほぼ人口の半数を占める大学町です。古き良き中西部を思わせるダウンタウンの街並みの外には森林や農耕地が広がり、五大湖付近の豊かな自然を感じる事ができます。シカゴとデトロイトへは鉄道または車で 3 時間程度と、利便性もよいです。研修期間となる晩夏から初冬にかけての気候は過ごしやすく、季節の移り変わりも楽しめます。

■研修実施大学について

本プログラムは、本学の協定大学でもあるウェスタン・ミシガン大学で学ぶ 1 セメスターの海外英語研修プログラムです。1903 年創立のウェスタン・ミシガン大学は、学生数が約 25,000 人の州立大学で、アメリカの公立大学トップ 100 にランキングされる中堅上位の実力校です。中でも、経営大学院、工学部、航空学部は全米トップレベルを誇ります。日本や東アジアからの留学生はあまり多くありませんが、日本語や日本文化への関心は高く、日本文化を紹介する曾我ジャパンセンターが付設機関としてあります。研修を受ける Center for English Language and Culture for International Students (CELCIS) は、40 年の歴史を誇る機関で、留学生に対して定評の高いプログラムを提供しています。

■研修内容

現地到着後、CELCIS が実施するプレースメントテストによって、各人に適したレベルにクラス分けがなされます（5 段階）。中近東やアジアからの留学生を中心とした各国からの留学生と共に学びます。

授業時間：月～金曜日 9:00～12:50（週 17.5 時間）

※午後には大学入学準備の講義（50 分×10 回）とボランティアを通して英語を学ぶサービス・ラーニング（計 10 時間の予定）が入る日もあります。

※本学部からの参加者には、入学準備の講義とサービス・ラーニングへの参加が義務付けられています。

※その他、希望者は会話サークルや各種のアクティビティに参加することができます（一部有料）。

詳細は現地でのオリエンテーションで確認してください。

■宿泊先：大学寮

■食 事：ミールプラン（ウェスタン・ミシガン大学内のダイニングセンターで提供されます。）

■同行員：同志社大学の教職員や添乗員は同行しません。

■費用について

含まれるもの	往復航空券/航空保険料・燃油費/日本・現地空港諸税/海外旅行傷害保険料/プログラム費/査証の代行及び取得費用 ※プログラム費には、学費、大学寮とミールプラン、事務手数料、現地空港への送迎費用が含まれます。
含まれないもの	上記のほかは含まれません。参考のためにその一部を例示します。 超過手荷物料金/日本の空港に行くまでにかかる交通費/教材費/その他個人的な生活費用。

■査証

本プログラムに参加するためには査証の取得が必要です。査証申請に必要な書類はウェスタン・ミシガン大学によって発行されます。

■日程（予定）

8/24～25	伊丹空港出発（羽田経由）→カラマズー空港到着 ※到着後、ウェスタン・ミシガン大学担当者が空港にてピックアップ
8/25～27	フリータイム【学生寮泊】
8/28～12/8	CELCIS オリエンテーションと秋学期授業【学生寮泊】
12/9	カラマズー空港出発
12/10	（羽田経由）伊丹空港到着 ※到着後、解散